



生け花で気持ちも新たに

大野地域市民センター

大野地域自治振興会の主催で、正月用の生け花教室が開催されました。参加者から「材料は先生と同じやけど、何か違うわ」という声に対して、講師の島田さんは丁寧にアドバイスされて、より完成度の高い作品をめぐりました。若松、銀色に装飾した竹、蕾が付いている梅の枝、葉蘭などを使い、開始から一時間余り後には、全員から笑顔がこぼれて自身の作品に満足された様子でした。正月飾りには門松やしめ縄、鏡餅があり、年神様の依代とされると聞きますが、玄関や床の間に生け花を飾り、一年の抱負を託された方も多いのではないのでしょうか。



花と笑顔いっぱい甲南中部をめぐって

甲南中部地域市民センター

昨年、甲南中部小学校は、FBC（フラワーボランティアコンクール）秋花壇において滋賀県大賞を受賞しました。甲南中部小学校では、学校だけでなく、年間を通して学校と地域が連携し、学区内10箇所在校外花壇をつくり、花いっぱい運動に取り組んでいます。地域の人々や保護者の協力のもと、小学校の児童が、土作りをし、学校で育てた花の苗を花壇に植えています。夏休みには、当番を決めて水やりと草引き、秋には、パンジーなどの花を植えました。春になって、この地域がきれいな花と笑顔でいっぱいになるのが、とても楽しみです。



私もできる「いきいき百歳体操」

多羅尾地域市民センター

今年度、多羅尾地域市民センターでは毎月1回まちの保健室を開催しその中で「いきいき百歳体操」を紹介しました。この体操は、筋力をつけることで動きやすい体を作り、いつまでも元気に暮らせることを目的とした体操です。体験された参加者からの「これなら続けてできそう！」という声に、早速自主サークルが立ち上がり、開始前に技術の支援を保健師や理学療法士が行っています。参加者は、「百歳体操は、ゆっくりとした筋力トレーニングなので無理なくでき、いつまでも元気に過ごすためにも続けたい」と話します。一人ひとりの健康管理が町を元気にしていきます。



イルミネーションで光のアーートを楽しまう

綾野地域市民センター

12月下旬に水口中央公民館周辺にイルミネーションの灯りがともされました。西水口商店街、綾野ゆうゆうクラブ、綾野自治振興会の3団体により飾りが施され、見事なライトアップが出現しました。今回はLEDを積極的に使用しました。LEDライトは、従来の白熱電球に比べて消費電力が4分の1で、さらに太陽光によるライトアップも活用され、環境への配慮がうかがえました。このイルミネーションは、成人式を迎える若者たちをお祝いする意味もこめて、1月14日まで続けられました。立ち止まって写真撮影される方もおり、寒空の中、温かい光で綾野のまちが彩られていました。

自治振興会の活動内容を紹介しています

— 羽ばたけ鮎河自治振興会 —

★郷づくりの目標★

「みんなで支えて、みんなで作る、
鮎河の未来」

鮎河地域は、野洲川の源流に位置し、鈴鹿の山々に囲まれた自然豊かな地域です。自治振興会では連帯感の強い住民性を生かし、少子高齢化に起因する地域の諸課題の解決をめざして活動を展開しています。

2012.11.18.甲賀市総合防災訓練



防災ベンチ作り



安心して暮らせる自然豊かな郷

自治振興会の発足により、安心・安全な郷づくりを最重要課題として取り組み、従前より組織されていた自主防災隊を包括し、自治振興会・総務部会・自主防災会として新たにスタートしました。地震や風水害等の災害に対する啓発及び防災活動を行い、減災活動に必要な資機材の整備を進めています。自主防災訓練の実施、地元で開催された市総合防災訓練への参加、京都市民防災センターでの体験研修、小学生と祖父母、老人クラブ会員の皆さんと一緒に防災ベンチ作り、防災マップも作成し、各家庭への配布も終了しました。スリッパ事故等を懸念して、通りたくても通れなかった道路の多年にわたる堆積物の撤去等、道路愛護活動にも取り組みました。



心豊かな人を育み、文化が香る郷

青少年育成団体と連携し、多世代交流・野外活動親子ふれあい事業等、鮎河の未来を担う子どもたちの健全育成に向けての活動を行っています。ミニ文化祭、歌声喫茶は二年目を迎え、身近な人の意外な一面も知ることができ、大変好評です。昨年実施した男性の料理教室は、料理の醍醐味を知ることができ、人気が高く、今年も近日行う予定です。また、人権研修として、滋賀県平和祈念館への視察も行いました。



ふれあい、支え合い、 生き生きと暮らせる郷

昨年10月、高齢者のグラウンドゴルフ大会を開催したところ学区人口の25%近くの参加がありました。地域内三か所の集会所では、毎月ふれあいサロンが開かれるため、血圧計と座椅子を設置しました。学区で毎年開催されている敬老会も振興会の担当となり、二年とも盛大に開催することができました。特に今年度は、台風17号の襲来と重



人、地域が輝き、賑わいのある郷

なり悪天候であったものの、参加のお年寄り、多くのボランティアさんのご協力のおかげで無事終了しました。年二回の各区分合同の大東西サロンも健康福祉部会の事業で、10年以上続いています。日ごろより、どの住民も地域の輪のなかで見守られ、孤立化しないよう働きかけを続けていきます。



市内が一番と言われる「うぐい川の桜」に鈴鹿国定公園「大河原の紅葉」。多くの人が訪れる二つの観光資源を利用した地域活性化と交流促進のため、桜まつりと紅葉まつりを実施しています。

鮎河地域では、年末になると3か所にイルミネーションを設置しています。さらにきらりと輝く光が心を癒してくれるとともに新たな年への希望と活力を与えてくれます。増える空き家が地域の課題となっており、その解決に向け、所有者へのアンケートを昨年度実施しました。その結果を分析し、今後の取り組みについて検討しています。

問い合わせ
羽ばたけ鮎河自治振興会事務局
(鮎河地域市民センター内)
☎/☎60・2721